

窓口支援事例 【宮城県 知財総合支援窓口】

企業情報

警察犬松本訓練所

所在地	宮城県大崎市		
ホームページ URL	http://dogschool-matsumoto.ftw.jp/		
設立年	1973年	業種	その他サービス業
従業員数	4人	資本金	1500万円

企業概要

当所の本来の業務は警察犬の飼育・訓練ですが、昨今のペットブームにより家庭で飼育されている各種ペット犬の訓練等も行っております。

そして、犬の訓練を行ううちに、試行錯誤を繰り返しながら、斬新な犬用カラー付きリードを考案し、試作・試験を経て製作・販売を行えるようになりました。

現在はネットショップ「ソフロック社」(<http://www.soflock.net/>) を立ち上げ、主にインターネットによる通信販売を行っております。



自社の強み

当所が運営するソフロック社の「Eye Rop e」(商標登録第5684197号及び第5684198号)は、警察犬訓練士としての長年の経験から、従来の首輪(カラー)やリードが持つ様々な問題点を解消したカラー付きリードです。製作方法としては、今までにない新技術の溶着を利用したものであり、新奇なデザインと多機能性を有するものです。散歩、運動、しつけ、訓練、また各種訓練競技、ドッグショー、展覧会など種々の目的にあったタイプがあり、オーダーメイドによる製作・販売も行っております。



一押し商品

2本の紐状のザイルを一定間隔で交差させて熱溶着することにより、連接した複数の穴を有する1本の紐(穴あきロープ:特許第5338018号)を形成し、この紐を使用して製作した犬用カラー付きリードです。紐の一端を穴に通すだけで強固に止めることができ、結び目がないため邪魔にならず、外れる心配もなく、見た目も良くスマートな犬用カラー付きリードです。(意匠登録第1467264号)



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同所の代表が長年の経験から得られた知見をもとに、斬新な犬用カラー付きリードを試作したので、知財で保護した上で販売したいとの意向で相談に来られたため、その商品化に向け、まずは知財での保護に関して知財総合支援窓口で支援を開始することとなりました。

最初の相談概要

試作された犬用カラー付きリードについて、デザイン形状としての意匠と、構成から生じる機能としての特許の両方での保護を提案しました。そして、具体的な出願手続きや出願書面の作成に関する助言を行い、意匠及び特許各1件の電子出願を同所代表が自ら行いました。

その後の相談概要

商品化を念頭に様々なデザインによる犬用カラー付きリードを試作してバリエーションが増えるに伴い、その都度主要なデザインに関して意匠登録出願を行い、現在まで26件が意匠登録となりました。また、特許に関しては、早期審査制度を活用し、また拒絶理由通知に対しては審査官と面接を行い、登録に至りました。また、外国出願も行っています。

窓口を活用して変わったところ

同所の代表自身、最初は知財に関する知識は殆どありませんでしたが、知財に対する意識付けを行い、自発的に各種知財説明会やセミナーに通うことにより、知財の重要性を認識するようになりました。また、知財総合支援窓口から紹介した商工会やよろず支援拠点との連携においても自発的に動かれ、有用な情報等を取得されて、商品販売まで漕ぎ着けることができました。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

今回知財総合支援窓口担当者からの助言により、商品化に係わる基本特許と多くの登録意匠を取得することができ、商品販売を安心して行えるようになりました。商品化において知財への不安を払拭するためには、まず知財総合支援窓口を訪問されることをお勧めします。

窓口担当者から一言 (氏名:森 一英)



長年の犬の訓練により培われた経験と技術をもとに、代表が自ら製作し提供する商品は、他に類を見ない斬新なデザインと高い機能性を兼ね備えたものとなりました。ここまで来られたのは知財に一方ならぬ興味を持っていただけたことに尽きます。今後も当窓口を通じて各種関係機関との連携を図りながら支援していきたいと考えております。